

まさき夢づくりだより

<http://masaki-com.org>

発行 正木コミュニティセンター・まさき夢づくり振興会



開会宣言!



選手宣誓!



平成29年10月15日(日)恒例の正木町民運動会を開催しました。

今年の町民運動会は、不安定な天候が続いていたため、4年ぶりに正木小学校体育館にて、プログラムを縮小しての開催となりました。

屋内ということもあり、リレー競技が開催できず、リレーの練習をしてくださつた選手の皆さん、申し訳ありませんでした！

雨が降つたりやんだりを繰り返す中、本当にたくさんの方々が参加してくださいました。例年と違う条件の中、12地区の自治会をはじめとする町民の皆さんのが集まつてくださり、正木町の団結を感じました。

準備・運営に携わられたスタッフの皆様、競技に参加してくださった皆様、本当にありがとうございました。





親子栗ひろい



区対抗玉入れ



尻合いゲーム

区対抗玉入れ 決勝戦結果

1位 森区 286点
2位 曲利区 245点
3位 不破一色区 237点
(2試合合計点数)

さあ、いくわよ!



新競技の各区対抗玉入れは4区が一度に対戦します。

色分けされた各区のかごを目がけて玉を投げ入れますが、コントロールを外すと、対戦相手のかごに玉が入ってしまいます。小さな玉は1点ですが、10点ボールもあります。単純でも難しいゲームに、歓声を上げて参加してくださいました。楽しんでいただけたようで、スタッフみんなもとても嬉しかったです。

本年度の正木町民運動会は、雨天のため、体育館で午前中のみの開催となりました。そんな中、大変多くの皆さんのが参加してくださいなり、運営委員一同、感謝申し上げます。

前日準備の日は天候も良く、悩みながら、体育館での開催に決定しました。屋内開催のうえ、多くの皆さんのが一度に参加できる新しい競技（対抗玉入れ・大玉おくり）を取り入れたため、少し戸惑う場面もありましたが、参加者から「楽しかった」との声を聞くことができ、大変嬉しく思っています。

また、正木町民運動会を開催するにあたって、皆さんのが練習に汗を流し、笑顔が見られる場に接し、スポーツ（運動会）が町民の輪と絆を生み出すと感じました。スポーツ（体を動かす）をすることで、人は心や体を解き放ち、生命力・活力を得ます。同時に、楽しく充実したスポーツ（その人に合った運動）は人と人を結び付け、仲間（友達）の輪が広がります。スポーツは一部の人の物ではなく、万人にとって共通の文化です。老若男女、障がいを問わず、誰もがスポーツに参加でき、より多くの人が楽しめるスポーツの場（町民運動会）を今後も作つていければと思っています。この町民運動会がきっかけで、多くの皆さんの健幸づくりの推進につながればと思います。

ご協力に感謝申し上げます。

町民運動会実行委員長 立花 智美



体育館内の開催ということで、競技種目が限られていましたが、会場は大変な盛り上がりとなりました。本年度からの新競技として、大玉おくり、親子栗ひろい、各区対抗玉入れが登場しました。大玉おくりでは、あっちこっちに転がる大玉を、歓声を上げながら大人数の列の頭上を送ります。親子栗ひろいでは、栗に見立てたお菓子の入った紙袋を親子でひばさみを使い、かごに拾いあげます。慣れないひばさみで栗（紙袋）を拾う子どもたちの姿は、こちらもにつこりとほほえましい気持ちになります。



